

## 特産品を使って地域活性化？！

### ～農業が人を繋ぐ～

#### ○はじめに

こんにちは！私たちは、近畿大学経営学部松本研究室の学生です！  
私たちは若者に大阪の農業・農空間を知ってもらい、興味を持ってもらうために、農業に関するイベントや活動に参加し、その内容について若者目線で発信する、#農女ライタープロジェクトを行っています！

我々農女ライターが今回訪問させていただいたのは、岸和田市にある「NPO法人・ゴールドファーム様（以下敬称略）」です。まずは今回お世話になったゴールドファームについて簡単ではありますがご紹介させていただきます！

#### ○ゴールドファームとは？

ゴールドファームは、イズミヤを定年退職した8名を会員として平成19年8月に結成され、農空間の保全と活用、農村地域への積極的貢献、および会員の健康づくりを目的に都市近郊の遊休農地を開墾し、その活用と保全管理活動を始められました。主な農作物として金ごま、難波ネギ、ジャガイモなど20種類の野菜を栽培しています。また、農業を通じて地域住民に収穫の喜び、楽しさ、安心安全な野菜作り、農のあるライフスタイルの素晴らしさを伝えながら、多様な方との交流会や地域朝市の活性化、環境を守る地域清掃活動なども積極的に実施されています！

ここからは、体験させて頂いたジャガイモの植え付けと難波ネギの収穫についてお伝えします！

#### ○ジャガイモの植え付け

ジャガイモの植え付けとマルチ張りを体験させて頂きました。植えたジャガイモの種類は、キタアカリ、男爵芋、メークインの3種類です。まず、種芋と呼ばれる、植え付けるために作られたジャガイモを30cm間隔で、互い違いに植えていきました。互い違いに植える理由は茎葉が互いに支え合うように育つため、強風対策の意味が込められているそうです！次に、芋と芋の間に肥料として牛糞または鶏糞を一握り散布しました。その後、植え溝を埋めて、畝に黒マルチを張りました。黒マルチとは、ジャガイモに光が当たらないようにするものです！光を防ぐ理由は、ジャガイモに光が当たってしまうと有害物質が発生してしまうからだそうです！また、地温上昇や草が生えるのを防止するという理由があることも伺いました。特にマルチ張りは、光が入らないように両サイドを土で固定したのですが、クワで土を掘り起こす作業がかなりエネルギーを使い、冬の時期でも汗をかくほどの大変さでした。この作業がゴールドファームの皆様の元気の秘訣に繋がっているのだと感じました。



### ○難波ネギの収穫

難波ネギの収穫体験をさせて頂きました！難波ネギは鴨なんばの由来のネギであり「大阪市なにわの伝統野菜」として認証されています。また、葉の繊維が柔らかく、強い滑りと濃厚な甘みの特徴のネギです。収穫はスコップを使って、根ごと引き抜きました。その際に、難波ネギは葉の繊維が柔らかいので、ちぎれないように根元を持って収穫することを心掛けました。収穫した難波ネギはゴールドファームのご好意で、1人1kgお土産として頂きました！頂いた難波ネギは、お味噌汁やネギ焼きにして美味しく頂きました。本当にありがとうございました！



### ○インタビュー

ここからは実際にインタビューを行ったのでその内容をお伝えしようと思います！

(以下、農女ライター→農 ゴールドファーム→ゴ)

農：まずは、この活動を始めたきっかけを教えてくださいませんか？

ゴ：この活動は、農空間の保全と活用、農村地域への貢献、会員の健康を目的にイズミヤの0B8名で結成しました。

農：そうだったんですね！それ以前は皆さん農業の経験はあったんですか？

ゴ：いえ、全員が農業素人だったんですよ(笑)なので、大阪府農の匠の木下良蔵様と地元の土地改良区の方にいろいろと指導してもらっていました。

農：何もかも一からのスタートだったんですね。そんな中で、困難だったことはありますか？

ゴ：土壌については困難なことが多かったですね。特に肥料の使い方については、最初はわからないことが多かったですかね。

農：そんな困難があったんですね。そのような困難を乗り越えて今は様々な農作物を育てていらっしゃるようですが、どのような基準で育てる農作物を選んでいるんですか？

ゴ：大きく2つあります。まずは、自分たちで育てていて楽しい農作物を選ぶようにしています。あとは、地域の特産品を作り、アピールすることも心掛けています。特産品の例としては、金ごまと、難波ネギがあります。どちらもとてもおいしいのでぜひ皆さんにも食べて欲しいですね。

農：どちらもとても素敵な理由ですね！楽しみながら野菜を育てるとのことですが、そのモチベーションはどうやって維持しているんですか？

ゴ：モチベーションとしては、やはり体を動かすことで自身の健康につながっていると実感できることですかね。自然の中で体を動かすととてもリフレッシュした気分になります。

農：確かに我々も今回実際に農業体験をさせていただきましたが、普段とは違う環境で体を動かすことができたので、とてもリフレッシュすることができました！

農：では、最後に今後のゴールドファームの展望を教えてください。

ゴ：今後の展望としては、まずは遊休農地の活用と地域貢献を目的に引き続き活動していきたいですね。あとは、私陣の健康の維持も欠かさずに行っていきたいです(笑)

農：本日は貴重なお話をありがとうございました！農業の魅力についてまた一つ知ることができて良かったです！

## 〇まとめ

今回は、岸和田市にあるゴールドファームに取材をさせていただきました！ゴールドファームのように地域活性化のために農業をしているという新たな農業の可能性を知ることができまし

た！また、今までとは違った体験ができたのでとても新鮮に感じたと同時に、農業はまだまだ奥が深いなと感じました！これからもたくさん農業について学んでいきたいです！